

地域別検討協議会学区別検討資料(釧路学区)

釧路学区高校配置計画の見込み												
区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減		
学区内中卒者数	1,643	1,586	1,598	1,503	1,403	1,381	1,357	1,311	▲ 332	▲ 192		
対前年増減	▲ 152	▲ 57	+ 12	▲ 95	▲ 100	▲ 22	▲ 24	▲ 46				
釧路市中卒者数	(1,204)	(1,176)	(1,191)	(1,136)	(1,047)	(1,018)	(998)	(974)	▲ 230	▲ 162		
対前年増減	▲ 145	▲ 28	+ 15	▲ 55	▲ 89	▲ 29	▲ 20	▲ 24				
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し		摘要		
	普通	職業	計									
釧路湖陵	5		5	0			4年間で公私比率勘案後4～5 学級に相当する中卒者の減 公私比率勘案後2～3 学級に相当する中卒者の減	4年間で公私比率勘案後4～5 学級に相当する中卒者の減		阿寒の協力校		
単 釧路江南	5		5	3								弟子屈の協力校
釧路商業		商 3	3	0								
釧路工業		工 5	5	36								
総 釧路明輝	4		4	0								
単 *釧路北陽	5		5	0								
釧路東	2		2	1								
地 阿 寒	1		1	23								
白 糠	1		1	17								
総 標 茶	2		2	27								
地 弟子屈	1		1	16								
厚岸翔洋	1	水 1	2	57								
*霧 多 布	2		2	47								
13校	29	9	38	227								

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。
 注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。
 注3 学校名の*は市町村立学校。

学区の検討事項と現状・課題	
学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、95人の中卒者数の減のほか、市町村ごとの中卒者数の状況なども考慮するとともに、釧路市内及び周辺町村における圏域での協議を踏まえた配置の在り方の検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で192人の中卒者数の減が見込まれること、特に令和10(2028)年に100人(釧路市で89人)の大幅な減が見込まれることや、これまでの定員調整の状況や学校・学科の配置状況などを考慮し、釧路市内及び周辺町における圏域での学校・学科の在り方など、再編整備を含めた公立高校全体での配置の在り方の検討が必要 欠員が40人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要